



平成31年4月18日

「インフラわくわくツアー」第一弾！

～インフラを巡る地域密着型ツアーを催行する旅行会社を募集します～

北海道開発局では、より多くの方にインフラに親しんでいただくために、昨年度実施した「インフラ歴史ツアー」の続編として、ツアーのテーマに「歴史」はもとより、地域の「産業」、「文化」、「食」といった様々な要素を取り入れた「インフラわくわくツアー」を実施します。

この度、第一弾として「美瑛・上富良野編」、「北見編」、「オホーツク編」を催行する旅行会社を募集します。

「インフラわくわくツアー」は、北海道開発局の施設に加え、地域の関係機関の施設もメニューに取り入れることで、ストーリー性を持った見学メニューや解説を行い、インフラの整備と地域発展の関係を実感できる内容としています。

記

1 ツアーテーマ

- (1) （美瑛・上富良野編）”五感で感じよう！「美瑛上富良野地域」ー火山との共生ー”
十勝岳大正泥流災害とその後の火山砂防事業・農地整備の成果を現地を巡り実感する。
- (2) （北見編）”五感で感じよう！「北見地方の農業の変遷」”
北見地方の開墾の歴史と農業生産の変遷、農業生産基盤整備の成果を実感する。
- (3) （オホーツク編）五感で感じよう！「国道建設の過去・現在・未来」
中央(北見)道路開削の歴史を学び、工事現場を巡りインフラ整備の成果を実感する。

2 募集期間 平成31年4月19日（金）～平成31年5月10日（金）

3 申込み方法等 応募要領、申込み様式、申込み先等については、北海道開発局ホームページをご参照ください。

URL : <http://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ki/renkei/splaat000001rb5.html>

4 ツアー概要等 詳細は別紙をご参照ください。

【問合せ先】国土交通省 北海道開発局 電話（代表）011-709-2311

開発監理部 開発連携推進課 開発企画官 宮崎 貴雄（内線5433）

開発監理部 開発連携推進課 開発専門官 長南 哉（内線5441）

北海道開発局ホームページ <http://www.hkd.mlit.go.jp/>



○ インフラわくわくツアー(美瑛・上富良野編) 【概要】

“五感で感じよう!”「美瑛・上富良野地域」-火山との共生-

ツアーテーマ 『美瑛・上富良野地域における火山との共生と対策事業』

- ◇十勝岳山麓の美瑛町・上富良野町では、1926年(大正15年)に発生した火山泥流により、144名もの人々が犠牲となる大災害が発生しました。
- ◇莫大な量の硫酸性の泥土と流木に埋もれたこの地は、並々ならぬ労苦を注いで復旧・復興が成し遂げられました。その後、昭和37年から北海道庁による補助事業、昭和63年からは国直轄の火山砂防事業が着手され、国・自治体・地域が一体となり、火山との共生を目指す取組が進められてきました。
- ☆本ツアーは、こうした地域の開拓の歴史や十勝岳大正泥流と火山砂防事業のあらましについて、実際に被害のあった地域や対策施設を巡りながら、安心して生活や農業ができるようになった火山地域の成り立ちを学び、地域とインフラ整備の関係を学ぶことができる内容となっています。

催行予定

平成31年7月、8月の各月1回(全2回)【土日祝日可】(日程は調整の上決定)

ツアー定員

各回 40名

諸条件等

- ツアーを企画する際は、下記「メニューリスト」から自由に選択いただけます(ただし、★印のメニューは必須とさせていただきます)。この他にもグルメ、観光スポットなど行程に組み入れていただけます。
 - メニューリスト「1」、「2」、「4」では、北海道開発局の職員が解説、ご案内します。
 - メニューリスト「3」では、北海道上川総合振興局の職員が解説、ご案内します。
 - メニューリスト「5」では、スガノ農機(株)のご協力により職員が解説、ご案内します。
- ※催行に当たり、北海道インフラPR実行委員会による支援を受けることができます。
※この他の詳細については、催行応募要領をご参照ください。

メニューリスト

- 1 十勝岳火山砂防情報センター(★)** (所要目安30分)
非公開施設の見学・火山災害と火山砂防事業について解説
- 2 美瑛川床止工群とブロック堰堤(青い池)** (所要目安30分)
砂防堰堤の見学・「青い池」の成り立ちの秘密を解説
- 3 富良野川2号透過型砂防ダム** (所要目安30分)
透過型としては世界一の長さ(917m)を誇る砂防ダムの見学・解説
- 4 日新ダム** (所要目安30分)
噴火による鉍毒被害対策として整備された農業用水ダムの見学・解説
- 5 土の館(★)** (所要目安45分)
泥流災害からの農地復興の解説・土の標本見学、蒸気トラクター等の農機具コレクションの見学

○見学可能な施設

画像協力:北海道遺産協議会



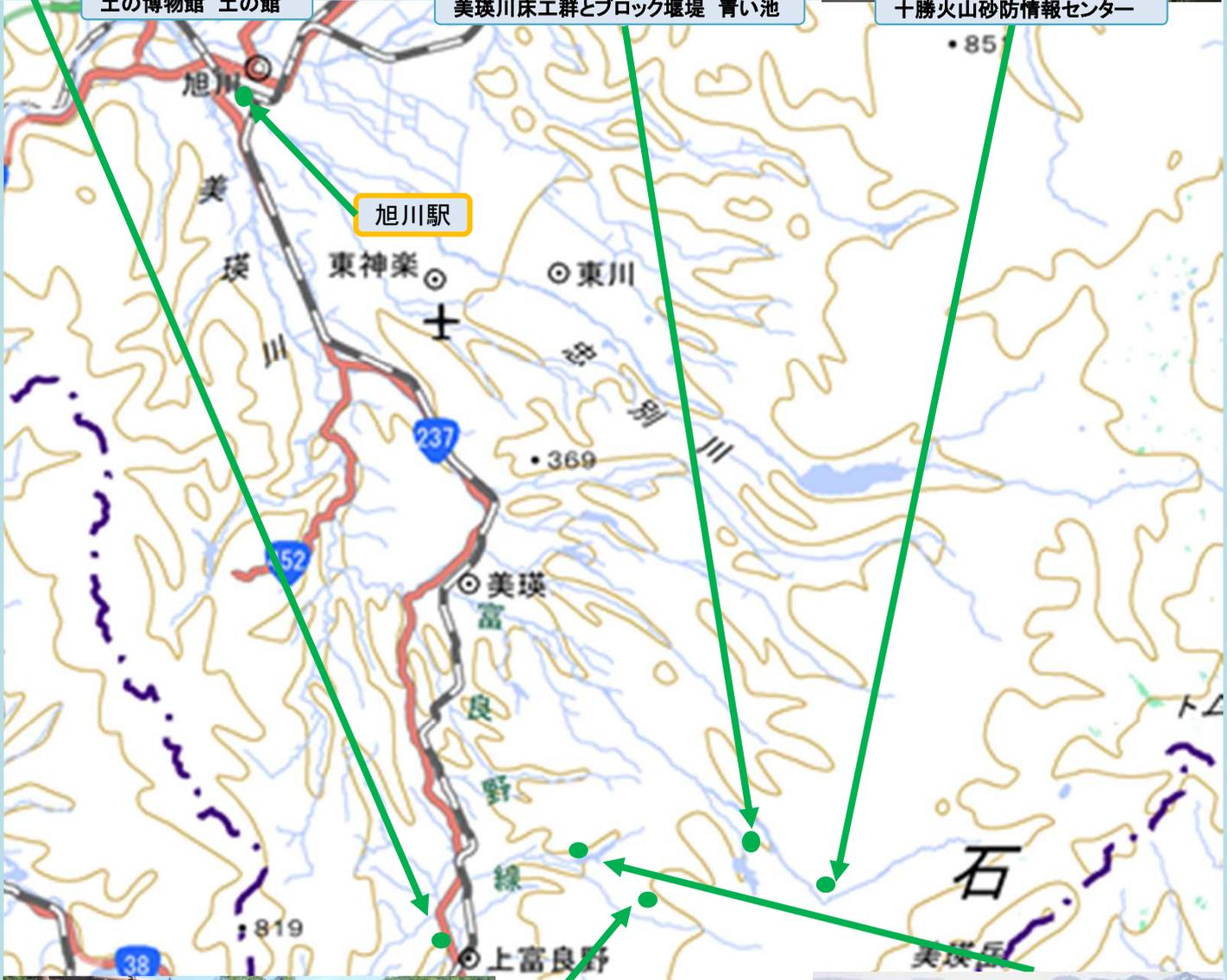
土の博物館 土の館



美瑛川床工群とブロック堰堤 青い池



十勝火山砂防情報センター



富良野川2号透過型砂防ダム

出典:国土地理院



日新ダム

○ インフラわくわくツアー(北見編)

【概要】

“五感で感じよう！”北見地方の農業の変遷”

ツアーテーマ 『北見地方の開墾から現在までの歩み』

- ◇北見地方の開墾は、明治30年に北光社と屯田兵の入植により開始されました。開墾当初の主要作物は、豆類、イモが中心で、続いてハッカ、その後タマネギの試作栽培が行われました。
 - ◇大正末期には、水田開発を目的とした土功組合(現在の土地改良区)によって用水路(幹線・支線)が完成し、地域の水田開発が進められました。
 - ◇ハッカ栽培は、昭和30年代にピークを迎えましたが、以降減少し、昭和58年には北見ハッカ工場が閉鎖され衰退していきました。その一方で、戦後の奨励強化作物としてビートの作付面積が拡大し、タマネギも需要増により作付面積が拡大しました。昭和45年には国の減反政策により稲作から畑作へ転換し、現在は、農業基盤整備の効果により畑作3品はもとより、たまねぎも安定的に生産されています。
- ★本ツアーでは、こうした北見地方の農業の変遷を実際に現地を巡りながら実感していただけます。

催行予定

平成31年7月～9月の各月1回(全3回)【土日祝日可】(日程は調整の上決定)

ツアー定員

各回 40名

諸条件等

- ツアーを企画する際は、下記「メニューリスト」から自由に選択いただけます(ただし、★印のメニューは必須とさせていただきます)。この他にもグルメ、観光スポットなど行程に組み入れていただけます。
 - メニューリスト「1」では、北見市の職員が解説、ご案内します。
 - メニューリスト「2」「3」では、北見土地改良区の職員が解説、ご案内します。
 - メニューリスト「4」では、ピアソン記念館の職員が解説、ご案内します。
 - メニューリスト「5」では、副館長が解説、ご案内します。
 - メニューリスト「6」は平日のみの対応となり、北海道糖業(株)北見製糖所の職員が解説、ご案内します。
 - メニューリスト「7」では、明照寺の担当者が解説、ご案内します。
 - メニューリスト「8」「9」は、自由見学となります。
- ※催行に当たり、北海道インフラPR実行委員会による支援を受けることができます。
※この他の詳細については、催行応募要領をご参照ください。

メニューリスト

| | | |
|-----------------|----------------------------|-----------|
| 1 富里ダム・富里湖(★) | 施設見学・事業説明 | (所要目安40分) |
| 2 常呂川第2頭首工(★) | 頭首工の役割等解説・見学 | (所要目安20分) |
| 3 常呂川第1頭首工 | 頭首工の役割等解説・見学 | (所要目安10分) |
| 4 ピアソン記念館(★) | 資料見学・説明(北光社＝キリスト系移民団体) | (所要目安30分) |
| 5 北見ハッカ記念館 | 北見ハッカの資料見学・説明 | (所要目安30分) |
| 6 北海道糖業(株)北見製糖所 | ビートの製糖工場見学・説明(DVD視聴、敷地内見学) | (所要目安70分) |
| 7 屯田兵人形と信善光寺 | 屯田兵の偉業を伝える人形見学・説明 | (所要目安20分) |
| 8 北光社 坂本直寛顕彰碑 | 開拓の礎となった北光社記念碑の自由見学 | (所要目安10分) |
| 9 仁頃はっか公園・ハッカ御殿 | 公園の見学・黄金期を知るハッカ御殿の自由見学 | (所要目安20分) |

○見学可能な施設



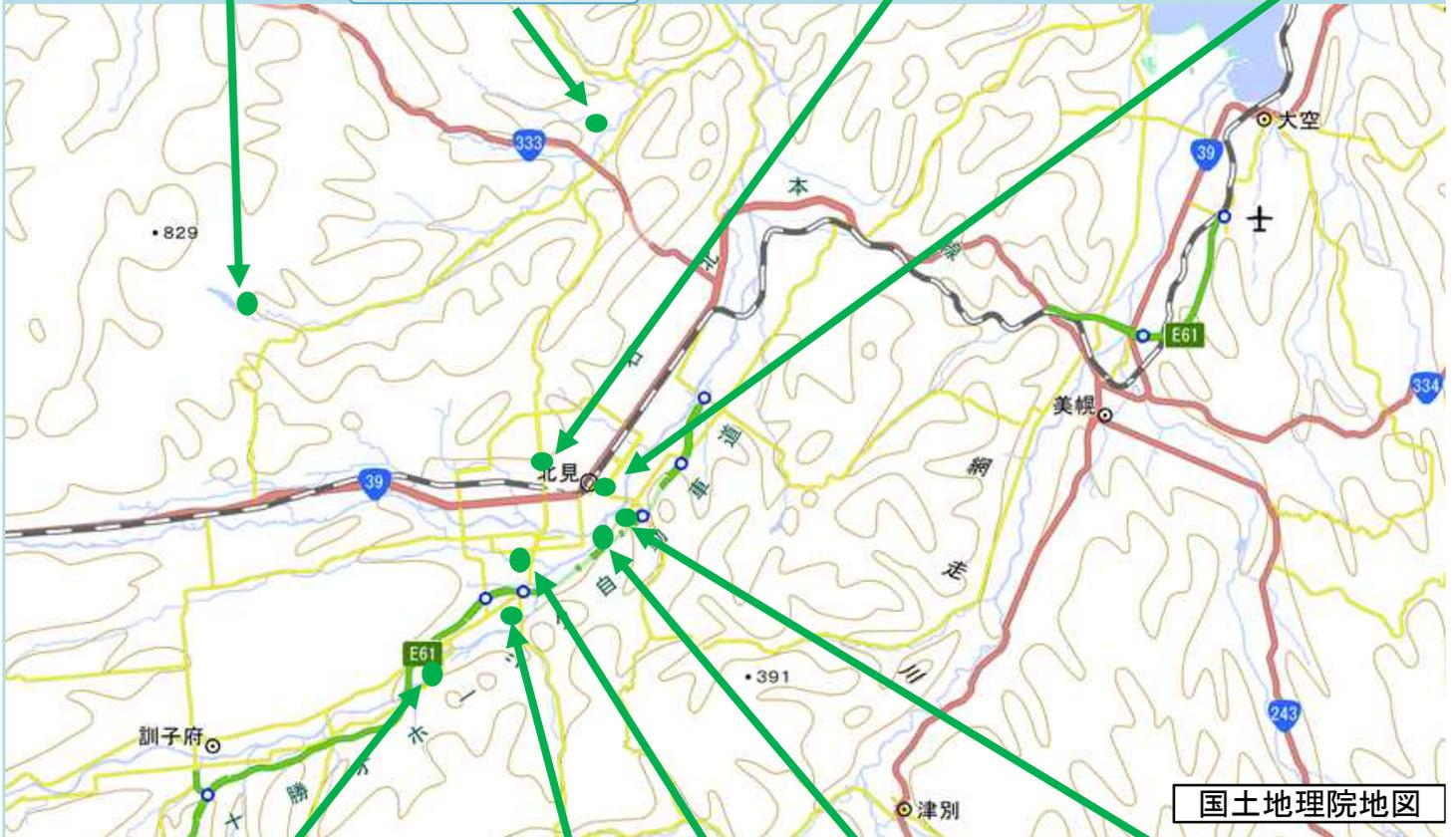
富里ダム・富里湖



ピアソン記念館

北見ハッカ記念館

仁頃はっか公園



国土地理院地図

坂本直寛顕彰碑

屯田兵人形と信善光寺

常呂川第1頭首工

北海道糖業(株)北見製糖所

常呂川第2頭首工



○ インフラわくわくツアー(オホーツク編) 【概要】

“五感で感じよう！”「国道建設の過去・現在・未来」

ツアーテーマ 『国道建設の「過去～現在」を巡る旅 ～中央(北見)道路開削と網走監獄～』

- ◇中央(北見)道路は、ロシアの南下政策に対抗するための軍事道路やオホーツク地域の開拓を目的として札幌～網走間の開発道路として開削されました。開削は、明治23年の網走監獄(網走刑務所)開所後、多くの囚人達が開削工事に従事し、200人以上が犠牲となる北海道暗黒史の一つとして語られています。
- ◇現在建設中の「旭川紋別自動車道」は、道央とオホーツクを結び、「物」や「ひと」を運ぶ生命の道路として、また、未来に繋がる道として地域の期待も大きく、平成31年度には遠軽瀬戸瀬～遠軽間が開通する予定です。
- ☆本ツアーでは、中央(北見)道路開削の歴史を学び、過去の道路開削に伴う慰霊碑・駅通所から現在建設中の高規格道路まで、実際に現地を巡り、これまでの国道建設やインフラ整備の成果を実感します。

催行予定

平成31年7月～9月の各月1回(全3回)【土日祝日可】(日程は調整の上決定)

ツアー定員

各回 25名

諸条件等

- ツアーを企画する際は、下記「メニューリスト」から自由に選択いただけます(ただし、★印のメニューは必須とさせていただきます)。この他にもグルメ、観光スポットなど行程に組み入れていただけます。
- メニューリスト「1」では、博物館の職員が解説、ご案内します。
- メニューリスト「2」では、北見市留辺築教育事務所の職員が解説、ご案内します。
- メニューリスト「3」「4」では、北海道開発局の職員が解説、ご案内します。
- メニューリスト「5」「6」「7」は、自由見学となります。
- ※催行に当たり、北海道インフラPR実行委員会による支援を受けることができます。
- ※この他の詳細については、催行応募要領をご参照ください。

メニューリスト

| | | |
|-------------------|-------------------------|-----------|
| 1 網走監獄博物館(★) | 監獄開拓の歴史解説・資料見学 | (所要目安60分) |
| 2 武華駅通所 | 中央道路開削後の開拓資料見学・説明等 | (所要目安30分) |
| 3 旭川紋別自動車道(★) | 現在の交通を学ぶ工事現場見学・説明 | (所要目安20分) |
| 4 国道333号 生田原道路(★) | 現在の交通を学ぶ工事現場見学・説明 | (所要目安20分) |
| 5 第壹号越歳駅通所跡 | 開拓の中継所となる第壹号越歳駅通所跡の自由見学 | (所要目安10分) |
| 6 鎖塚 | 開拓の犠牲を弔う鎖塚慰霊碑の自由見学 | (所要目安10分) |
| 7 北見峠慰霊碑 | 開拓の犠牲を弔う北見峠慰霊碑の自由見学 | (所要目安10分) |

○見学可能な施設



網走監獄博物館



第33号越歳駅通所跡

国土地理院地図

北見峠慰霊碑

武華駅通所

鎖塚

旭川紋別自動車道工事



国道333号生田原道路工事

